

いばらき 市議会だより

2025年11月号
(令和7年)
No.262



茨木市立生涯学習センターきらめき主催イベント「きらめき社交ダンスパーティー」(9月8日)

9月(第4回)定例会

令和7年第4回定例会を9月4日から26日
までの23日間の会期で開催しました。

編集 / 議会広報委員会 発行 / 茨木市議会
電話 (072) 620-1670 FAX (072) 623-7591
https://www.city.ibaraki.osaka.jp/shisei_info/gikai/index.html



スマートフォン等で読
み取ることができます。

- Page2
9月定例会
一般会計補正予算質疑
- Page6
一般会計
決算特別委員会質疑
- Page7
令和6年度
各会計別歳入歳出決算額
- Page8
9月定例会議決結果
- Page9
議員研修会を開催

9月定例会 一般会計補正予算質疑

9月4日、5日の2日間にわたり質疑を行いました。

主な質疑内容は次のとおりですが、誌面の都合上、質疑の一部しか掲載できません。詳しい内容は、市議会ホームページ等で公開予定の会議録をご覧ください。(11月下旬予定)



上記二次元コードから録画配信をご覧いただけます。



自由民主党・絆
永田 真樹



水泳授業における民間との連携は

問

府内では、民間プールを活用することにより、水泳授業の通年化や教員の負担軽減等を図る動きがあり、近隣市でも活用事例がある。市民プールや民間事業者と連携できれば、各学校のプール施設の維持管理や、将来的な改修費用などのコスト削減のほか、指導委託による水泳授業の質の向上も見込めると考えるが、市の見解は。

答

民間施設等を活用し、水泳指導を行っている他市の動向は注視している。しかし、本市では学校プールを活用し、教職員が指導することを基本と考えているため、現段階では検討に至っていない。

市民プールと地域まちづくりの連携について

問

開設から長期間経過した市民プールは、大規模改修等の時期が近いと考える。市民プールの今後のあり方として、高齢者の健康増進等へ寄与していく

ことが望まれるほか、地域住民等の意見を取り入れ、市民参加でプール運営を考えていくことが必要ではないか。大規模改修等を検討する際には、地域振興や防災機能の強化など、まちづくり全体に寄与できることもあると思うが、市民プールと地域まちづくりとの連携について、市の考えは。

答

プールの基本計画等の策定に当たっては、利用者や関係団体にご意見をいただく。また、次期スポーツ推進計画の改定に当たっては、地域まちづくりとの連携を図るため、さらなる市民参加の仕組みについても検討していく。



会派に所属
しない議員
片岡 真



出国者の市税滞納について

問

個人住民税は、前年の所得に応じた額を翌年に徴収するため、外国人の方が未納のまま日本を出国すると、徴収できず滞納となり、結果として不納欠損(※1)となる事例がある。外国人の方が滞納したまま出国した場合の対応はどうか。また、今後、外国人労働者の増加に伴い、同様の事例も増加すると考えられるが、課題解決に向けた市の取組みは。

答

外国人の方が出国している場合、督促状発付や差し押さえ等、通常の滞納整理が行えない状況である。現在、国が全国の自治体を調査し対策を検討している段階のため、引き続き動向を注視し、情報収集に努めていく。



大阪維新の会
川口 元氣



学校プール施設の問題に総合的な解決策を

問

小・中学校のプール施設においては、近年の記録的な

(※1) 不納欠損：未収となっている市税や公課などの市の債権のうち、徴収の見通しが立たない等の理由により、会計上、徴収不能な債権として処理されたもの。未収金額からは除かれる。

問 元茨木川緑地は、その桜並木が大阪みどりの百選にも選出された、市を代表する緑地である。開設から50年以上が経ち、老木化等で桜の伐採が進められている一方、新たな植樹がなされていないエリアもある。桜の景観を守るための植栽計画について、市の考えは。

桜の植栽計画について



答 サンシェードの設置を含め、先進他市の対応等について情報収集を行い、その有用性について研究していく。

猛暑による熱中症や、こどもを狙った盗撮被害等が危惧される。プールサイドへの塩化ビニルシートの設置工事や、教職員による事前確認など、それぞれ対策がとられているが、これらの問題をソフト・ハードの両面にわたり総合的に解決する方策が必要ではないか。他市には、プール全体に開閉可能なサンシェードを設置している事例もあるが、市の見解は。

問 高齢者福祉タクシー料金助成事業（※2）は、対象者拡大を



元茨木川緑地の桜並木（令和7年4月撮影）

答 令和7年度は、阪急京都線の南側から順次、桜の補植を行う。また、伐採や剪定を最小限にとどめられるよう、将来樹形を考慮した品種の選定等に努めつつ、リ・デザイン計画および植栽ガイドラインに基づき、緑地全体で桜と四季が楽しめるよう、引き続き計画的に植栽環境を整えていく。



答 要支援の方には、介護予防につながるサービスを基本に、複数の事業を実施しており、現時点では福祉タクシー料金助成の対象を拡大する考えはない。しかし、今後、介護予防に有効なサービスの組合せを検証予定であり、その結果および他市の取組みも参考にしながら研究していく。

数に対する実利用者数が少なく、年々予算が削減されている。高齢者の外出を促進するためにも、交付対象の範囲を拡大し、現在は対象外となっている要支援2の方も対象とすることを検討してはどうか。

「声の市議会だより」のご案内

茨木市議会では、市民の皆さまに広く情報提供ができるよう、市議会だよりの音訳版「声の市議会だより」を発行しています。ご利用を希望される方は、市議会事務局総務課（072-620-1670）にお問い合わせください。

- ※デージー形式で収録されたCDを再生するためには、専用の再生機器が必要です。
- ※再生機器の購入の際に、重度視覚障害者は日常生活用具の給付として、補助制度を利用できる場合があります。
- ※補助制度の詳細は、障害福祉課（072-620-1636）にお問い合わせください。



デージー図書再生機器（イメージ）

グラウンドにおける雷対策は



会派に所属
しない議員
佐藤 恵



問 本市の小・中学校や学校外のグラウンドにおいて落雷の対策はしているのか。また、発雷時の対応はどうか。

答 各学校に雷警報器を配備し、活動の目安としている。



いばらき
未来の会
安孫子 浩子



学校における香害への合理的配慮について

問 柔軟剤や化粧品等に含まれる人工的な香料により、体調不良をきたす場合がある。小・中学校において、香料により体調を崩す児童・生徒には合理的配慮の提供が必要だと考えるが、市の対応はどうか。また、少しでも多くの方の理解を深めるため、取り組んでいることはあるか。

答 香りの困りごとについて児童・生徒や保護者から相談を受けるなどした場合は、悩み

また、職員会議等で授業・部活動時における雷への対応を共有し、雷が発生した場合の避難や活動中止の対応を徹底している。その他、行事等も安全を最優先に、状況に応じ対応している。グラウンドにも本年8月付で雷警報器を配備し、警報器の作動時や雷注意報発表の際は、キャンセル料を無料としているほか、施設管理人が注意喚起や利用中止を呼びかけるといった安全対策を講じている。

や状況を丁寧に聞き取り、教職員間で共有するとともに一人一人に応じたきめ細やかな対応を行っていく。また、啓発ポスター等の校内掲示、教職員・保護者へのリーフレットデータの共有のほか、児童・生徒の発達段階に依り、学級活動等において香害について触れることで理解が深まるものと考えている。



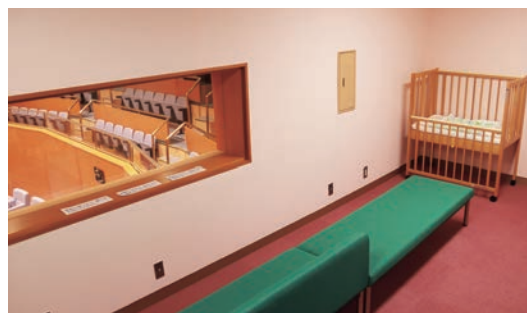
議会を傍聴しませんか

定例会は、原則、6月、9月、12月、3月に開催します。

本会議・委員会は、所定の受付簿に住所・氏名を記入するだけで傍聴できます。

また、お子様連れの方などが利用できる「特別傍聴室」を設置していますので、ご利用の際は市役所本館4階市議会事務局までお申し出ください。

※詳しい開催日程等は、市議会ホームページでご案内します。



特別傍聴室（市役所本館5階）



会派に所属
しない議員
山下 慶喜



府都市ボートレース企業団からの脱退を

問 本市は、府都市ボートレース企業団の構成団体となつて

いるが、ボートレースは公営競技の中でもギャンブル依存症となるリスクが極めて高いと言われている。そのような団体からは離脱すべきではないか。現時点で離脱を検討していないの

答 ボートレースは法に基づき実施されている公営競技であり、収益金は地方自治体のまちづくりの財源となる。現在の厳しい財政状況の中、本市においても貴重な財源であることから、今後も構成団体として運営に携わっていく。依存症への啓発については、他市事例を参考に、今後研究していく。

市議会のうごき

7月	2日	議員研修会
	7日	議会広報委員会
	22日	市街地整備対策特別委員会
	23日	北部地域整備対策特別委員会
	24日	幹事長会
8月	8日	議会広報委員会
		幹事長会
	29日	議会運営委員会
9月	1日	議会広報委員会
	4日	本会議（初日）
	5日	本会議（2日目）
	9日	民生常任委員会
		建設常任委員会
	10日	民生常任委員会
	11日	文教常任委員会
		総務常任委員会
	16日 ～ 19日	一般会計決算特別委員会
	24日	幹事長会
		議会運営委員会
	26日	本会議（最終日）

答

第4期産業振興アフションプランで新たに観光振興に

問 本市の第6次総合計画や第4期産業振興アフションプランでは、観光振興について具体的な取組みが示されていない。今後、観光振興に積極的に取り組むのであれば、観光資源の掘り起こし、観光資源の魅力向上等、個別具体的な取組みを盛り込むか、観光振興に特化した計画や指針を作成すべきではないか。また、そのための観光にかかる現況調査や観光客の実数等、現状把握も重要と考えるが、市の見解は。



生保半島さくら広場（ダムパークいばきた）

観光振興の具体的な取組みについて



大阪維新の会
長谷川 浩



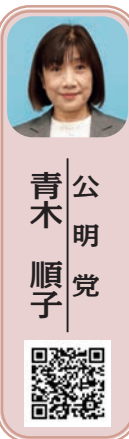
基づく取組みを掲載し、成果指標を定めて取り組んでいる。今後、現状や課題を踏まえ、具体的な取組みを盛り込むなど適宜見直しを図っていく。観光にかかる現状把握も重要と認識しており、関係者等と連携し、適切な把握に努めている。

答

特定健診は生活習慣病予防が目的であり、国の基準において検査項目が定められていること、実施体制の構築に課題

問 認知症は、初期に認知機能の低下が見られるが、本人や家族が病状に気づくことが難しい点や、病気を認めたくない心理から、必要な支援に結び付きにくい。認知機能検査を特定健診の必須検査とし、経年的に認知機能の推移を見守ることで、早期の発見、受診につながると考えるが、市の考えは。

特定健診における認知機能検査の実施は



公明党
青木 順子



答 平成30年に「茨木市における超高層建築物の立地に関する基本的な方針」を策定し、高さ43mを超える建築物の立地については、拠点機能を高める必要がある主要な駅前に限定している。また、計画については、市民が利益を享受できる公共公益性と長期的な持続可能性を有しつつ、エリアを活性化し、都市機能を向上させる計画に限定している。

答

平成30年に「茨木市における超高層建築物の立地に関する基本的な方針」を策定し、高さ43mを超える建築物の立地については、拠点機能を高める必要がある主要な駅前に限定している。また、計画については、市民が利益を享受できる公共公益性と長期的な持続可能性を有しつつ、エリアを活性化し、都市機能を向上させる計画に限定している。

問

持続可能なまちづくりを目指す上では、中心部におけるマンション建設の制限も考慮していく必要があると考える。今後の本市の住宅政策における高層および超高層マンション計画について、市の考えは。

持続可能なまちづくりにおける住宅政策は



自由民主党・絆
塚 理



があることなどから、現時点で認知機能検査を実施する考えはないが、国の動向や先進自治体の状況を参考にしながら、導入について研究していく。

一般会計決算特別委員会 質疑

「令和6年度大阪府茨木市一般会計決算」の審査が付託された一般会計決算特別委員会は、岩本 守 委員（大阪維新の会）を委員長に選任し、9月16日から18日の3日間にわたり、関係書類の審査を行ったのち、19日に質疑を行い、委員会としての採決を行いました。その後、26日の最終本会議における採決で、賛成者多数で認定しました。

問

令和6年度あぐりばの卒業人数は春夏コースの4人であったとのことだが、卒業後の

就農支援塾あぐりばについて

いばらき未来の会

西本 睦子



一般会計決算特別委員会での関係書類審査

答

令和4年度は使用中の故障に対する緊急修理が26台であった。令和5年度からは予防保全

の状況および支援体制はどうだったのか。卒業後に販路等の支援は必要と考える。さらに、あぐりばでの指導農法は慣行農法とのことだが、有機農法等を学びたい方に対する支援はあったのか。

答

卒業した全員が市内で営農を開始しており、営農指導員による助言等の支援を行っている。有機農法等を希望された方には、エコ農産物の申請などの助言や、府が実施する有機農産物アカデミーの勧奨などの支援を行った。

自由民主党・絆

西野 貴治

教室用エアコンの修繕について

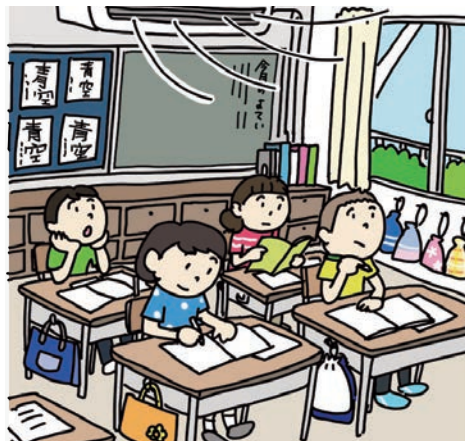
問

学校施設の空調整備は、学習環境を守るために欠かせない。特に近年は猛暑が続いており、児童・生徒の集中力や体調への影響も懸念されるため、教育の質を確保する上でも空調整備は重要と考える。過去3年間の教室用エアコンの修繕件数は何件か。また、現在設置されている教室用エアコンはいつ頃から設置されているものか。

答

令和4年度は使用中の故障に対する緊急修理が26台であった。令和5年度からは予防保全

の取組みを始め、緊急修理26台、予防保全29台、6年度は緊急修理25台、予防保全28台であった。教室用エアコンは、平成20年度から23年度にかけて設置したものである。



無名橋の管理について

問

現在、市が管理している橋の総数とそのうちの無名橋の数は何橋か。また過去3年間の橋の保守点検費用額はいくらか。他市では、市民参加の観点から、道路等に愛称を付ける取組みも行われているが、本市では橋の名称はどのように決定しているのか。

大阪維新の会

川口 元気

答 市管理橋梁数は566橋、うち447橋が無名橋である。保守点検費用は、令和4年度約8,297万円、5年度約5,298万円、6年度約5,584万円であった。橋梁の名称は、親しみやすさや地域との結び付きを意図することが多く、所在地名や河川名、地域性や周囲の環境などをさまざまな角度で検討し、命名している。



直近で名がついた橋（堂ノ脇橋（大字大岩））

公園施設の修繕と監視カメラについて

問 過去3年間の都市公園・児童遊園の修繕料はいくらか。また、意図的に公園施設が破壊された場合なども含め、年間の修繕件数は相당한数に上っているとのことであり、現状の職員による巡

視のみでの公園施設の管理は難しいと考える。市内の公園には、市が管理・設置しているカメラは何かあるのか。

答 修繕料は令和4年度約6,886万円、5年度約5,356万円、6年度約6,605万円である。公園管理者として設置している施設監視カメラとして、彩都西公園に1台、西河原公園に1台、岩倉公園に3台、ダムパークいばきたに1台の計6台を設置している。なお、児童遊園に設置しているカメラはない。

公明党

青木 順子

障がい者就労支援事業所の工賃上昇への取組みは

問 障がい者就労支援事業所の平均工賃については、事業所ごとの差も大きく、工賃の底上げには市の取組みも重要だと考える。市が優先して事業所へ発注を行う優先調達の件数、金額は年々増加しており、工賃の上昇に一定寄与していると考えられるが、市としてどのような取組みをしているのか。

答 障害者等の就労機会の提供および創出のため、予算編

成に当たっては、障害福祉サービス事業所等からの物品・役務の調達に努める旨を庁内全体へ周知している。また、庁内に設置している行政の福祉化検討部会においても、優先調達推進の趣旨を周知している。

自由民主党・絆

塚 理

放置自転車等への対処は

問 駅を中心におおむね半径300メートル以内の区域を対象として、放置自転車や原付の撤去を行っているとのことである。放置禁止区域が半径300メートルとなった経過は。また、禁止区域外において、夜間の放置自転車等が目立つが、どのように対処しているのか。

答 放置自転車禁止区域は、運用開始当初は、おおむね半径200メートル以内としていたが、放置自転車が禁止区域周辺に増加し、まちの美観と歩行者の通行に支障が出たことから、平成元年から半径300メートルに拡大した。また、禁止区域外の放置自転車等については、道路管理者が対処している。

令和6年度各会計別歳入歳出決算額

(単位：円)

会 計 区 分		歳 入 決 算 額	歳 出 決 算 額	差 引
一 般 会 計		117,136,687,139	114,456,305,923	(※) 2,680,381,216
特 別 会 計	財 産 区	5,397,218,924	92,738,994	5,304,479,930
	国 民 健 康 保 険 事 業	26,113,387,994	25,537,049,477	576,338,517
	後 期 高 齢 者 医 療 事 業	5,718,099,603	5,485,377,075	232,722,528
	介 護 保 険 事 業	23,049,073,875	22,609,925,549	439,148,326
合 計		177,414,467,535	168,181,397,018	9,233,070,517
下 水 道 等 事 業 会 計 (収 益 的 収 支)		7,359,683,929	6,244,420,526	1,115,263,403
水 道 事 業 会 計 (収 益 的 収 支)		5,977,759,299	5,357,829,920	619,929,379

(※) 翌年度に繰り越す財源 1,420,169,551 円を含む

9月定例会議決結果

(○：賛成、×：反対、－：欠席、退：退席)

		大 阪 維 新 の 会					自 由 民 主 党 ・ 絆					公 明 党					い ば ら き 会				会 し 派 な に い 所 議 属 員				結 果					
		栗 尾 憲	岩 本 守	浅 野 優 子	長 谷 川 浩	川 口 元 氣	円 藤 じ ず え	永 田 真 樹	西 野 貴 治	塚 理	上 田 光 夫	下 野 巖	北 原 正	和 田 美 紀	松 本 泰 典	青 木 順 子	大 村 卓 司	仁 木 和 芳	櫻 井 淳 貴	西 本 睦 子	安 孫 子 浩 子	片 岡 真	佐 藤 恵	森 本 麗 子		大 嶺 さ や か	辰 見 直 子	米 川 勝 利	山 下 慶 喜	
人 事 案 件	茨木市教育委員会委員任命につき同意を求めることについて【城谷 敬子 氏】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	
条 例	茨木市職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	茨木市市税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	○	○	退	可決	
	茨木市印鑑登録及び証明に関する条例及び茨木市手数料条例の一部改正等について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	可決		
	茨木市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の全部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	茨木市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の全部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	茨木市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	可決	
	茨木市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	茨木市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の全部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	茨木市学校給食費条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	可決	
	茨木市下水道条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
そ の 他	令和６年度大阪府茨木市下水道等事業会計未処分利益剰余金の処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	令和６年度大阪府茨木市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	市道路線の認定について 市道路線の変更について	} [一括採決]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	請負契約締結について（(仮称)ダムパークいばきた多目的運動広場整備工事)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

9月定例会議決結果

(○：賛成、×：反対、－：欠席、退：退席)

		大 阪 維 新 の 会																自 由 民 主 党 ・ 絆					公 明 党				い ば ら の さ 会				会 派 に い		所 議 員		結 果
		栗 尾 憲	岩 本 守	浅 野 優 子	長 谷 川 浩	川 口 元 気	円 藤 こ ず え	永 田 真 樹	西 野 貴 治	塚 上 理 光	下 野 巖	北 原 正	和 田 美 紀	松 本 泰 典	青 木 順 子	大 村 卓 司	仁 木 和 芳	櫻 井 淳 貴	西 本 睦 子	安 孫 子 浩 子	片 岡 真	佐 藤 恵	森 本 麗 子	大 嶺 さ や か	辰 見 直 子	米 川 勝 利	山 下 慶 喜								
補 正 予 算	令和 7 年度大阪府茨木市一般会計補正 予算（第 3 号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決							
	令和 7 年度大阪府茨木市下水道等事業 会計補正予算（第 1 号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決							
決 算	令和 6 年度大阪府茨木市一般会計決算 認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	認定							
	令和 6 年度大阪府茨木市財産区特別会 計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定							
	令和 6 年度大阪府茨木市国民健康保険 事業特別会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	認定							
	令和 6 年度大阪府茨木市後期高齢者医 療事業特別会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定							
	令和 6 年度大阪府茨木市介護保険事業 特別会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	認定							
	令和 6 年度大阪府茨木市下水道等事業 会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定							
	令和 6 年度大阪府茨木市水道事業会計 決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定							

- ◆議長（自由民主党・絆：福丸 孝之議員）は採決に加わりません。
- ◆9月定例会の議案内容については、市役所南館1階情報ルームに設置している資料をご覧ください。
なお、9月定例会市長提案案件の概要については、市議会ホームページでご覧いただけます。

議員研修会を開催

7月2日（水）に霊長類学者で総合地球環境学研究所の所長を務める山極 壽一（やまぎわ じゅいち）氏をお招きし、「ゴリラ社会から学ぶ合意形成について」をテーマに議員研修会を行いました。

ゴリラ社会の共感や協調行動を手がかりに、人間社会の合意形成を考察し、群れの規模や食物分配、育児の仕組みを比較することで、信頼関係や共感力が社会維持に不可欠であることや、現代社会において多様性を尊重することの重要性を学びました。

